

災害廃の処理指針 策定に向け検討会

大阪府

大阪府は有識者らによる検討を踏まえ、東日本大震災で発生した災害廃棄物を域内で受け入れる際の処理方針を策定する。処理方針には、廃棄物処理のほか、放射性物質や線量率に関して配慮すべき事項も整理して盛り込む方向。先月26日に行われた第1回検討会では、災害廃棄物に関する府の考え方や府民の声、放射線の影響に関する考え方などが示され、意見交換が行われた。次回以降の論点として▽対象とする放射性物質は現状ではセシウムに限定する▽線量限度の考え方は国が8000ベクレル／キログラムを算出した根拠資料などを基に引き続き検討することが確認された。府は検討会を全4回程度開催する意向で、次回は今月24日に予定されている。